

# 「令和元年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況 (関東農政局管内)」9月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

## 【茨城県の作柄概況】

図 作柄表示地帯別10a当たり予想収量  
及び作況指数(9月15日現在)

1 茨城県における令和元年産水稻の作付面積(青刈り面積を含む。)は7万6,600haで、田耕地の減少等により、前年産に比べ400haの減少が見込まれる。

また、主食用作付見込面積は6万6,400haが見込まれる。

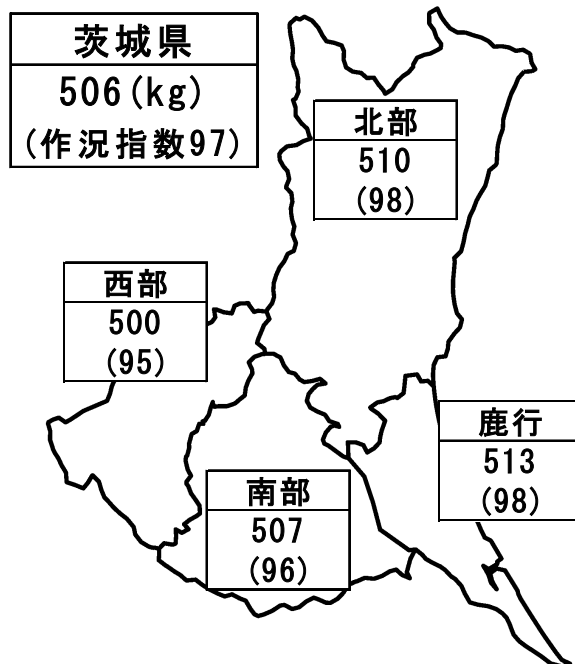
2 全もみ数(穂数×1穂当たりもみ数)は、穂数が平年並み、1穂当たりもみ数が平年並みで「やや多い」となった。

3 登熟は、出穂期以降、最低気温が高い状態が続き、粒の肥大が抑制されたことに加えて、8月中旬以降日照不足で推移したことにより「やや不良」が見込まれる。

4 この結果、茨城県の10a当たり予想収量は506kgで、前年産に比べ18kg減少が見込まれる。また、作柄表示地帯別では、北部で510kg(前年産に比べ15kg減少)、鹿行で513kg(同15kg減少)、南部で507kg(同17kg減少)、西部で500kg(同22kg減少)が見込まれる。

なお、農家等が使用しているふるい目幅(1.80mm)で選別された茨城県の作況指数は97が見込まれ、作柄表示地帯別では、北部及び鹿行で98、南部で96、西部で95が見込まれる。

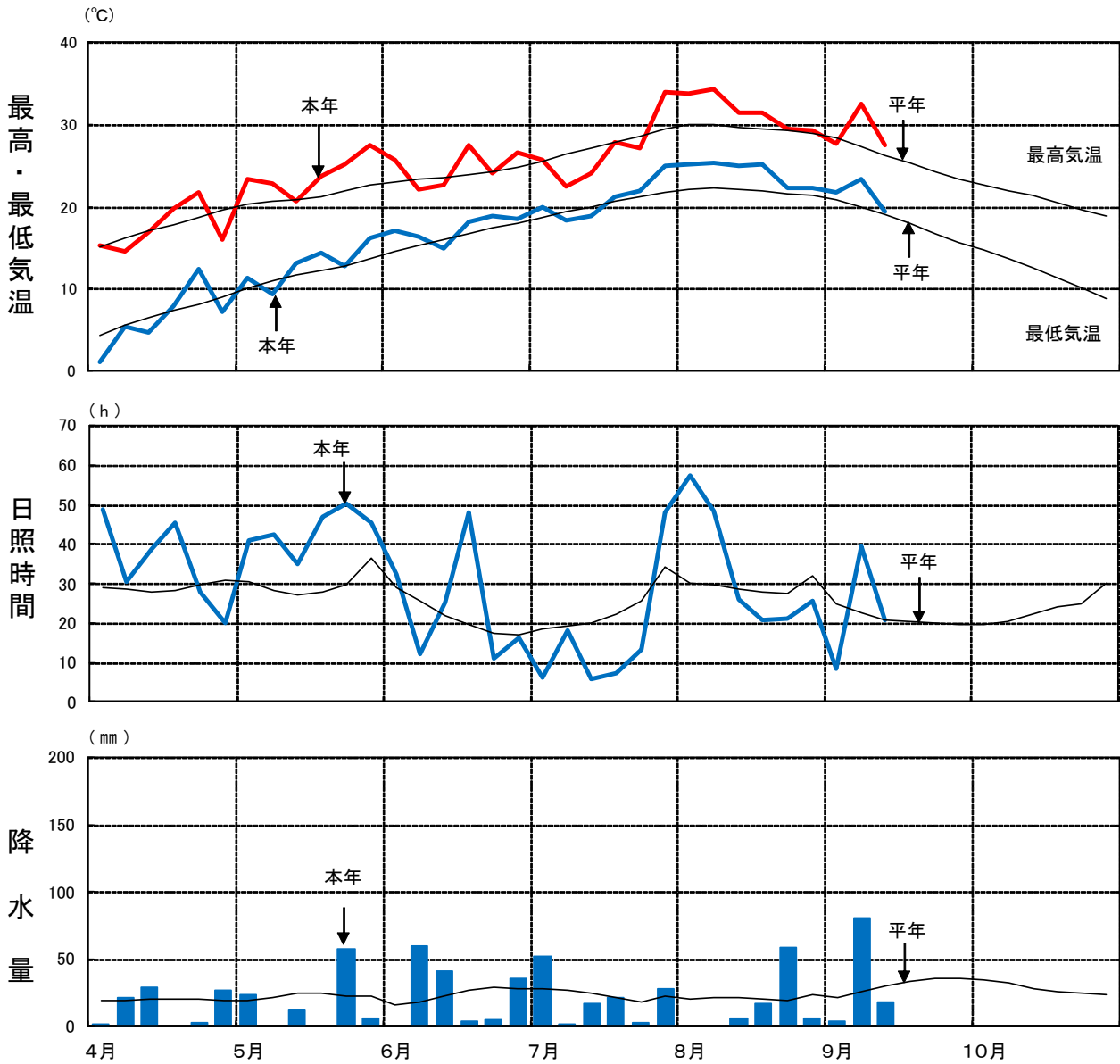
5 主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は33万6,000tで、前年産に比べ1万4,000tの減少が見込まれる。



○ この資料は、「令和元年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況(関東農政局管内)」9月30日公表の補足資料として作成したものです。詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 [http://www.maff.go.jp/kanto/to\\_jyo/](http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/) 】

## 令和元年 半旬別気象（水戸）



資料：気象庁

田植期  
5/6(±0)

出穂期  
8/1(+4)

注：田植期及び出穂期の期日は、いずれも最盛期を示す。  
なお、( )内は、平年との遅速（日数）を示す。

お問合せ先  
 ◎本統計調査結果について  
 関東農政局 茨城県拠点 統計チーム  
 電話：029-231-2266  
 F A X：029-227-1535